

令和 6 年 9 月 1 日

苫小牧市
市長 岩倉 博文 様

公益社団法人 日本オストミー協会
北海道支部 支部長 須佐 理恵子

日常生活用具給付等事業における排泄管理支援用具に関する要望書
給付基準額に関する見直しについて

私共日本オストミー協会（以下 JOA）北海道支部に対しまして、平素より温かいご支援とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。特に貴障がい福祉課様には、私達協会会員をはじめ人工肛門・人工膀胱（以下ストーマ）造設者（以下、オストメイト）が日頃より大変なお世話を頂いておりますことありがたく思いますと共に重ねて御礼申し上げます。私達オストメイトは排泄機能に障がいがある者として、ストーマ装具及び関連製品の使用は毎日の生活に欠かせない物であり、排泄管理支援用具に関する給付支援がなくてはならないものです。ここに改めて感謝致します。

今般、この生活必需品である排泄管理支援用具について、下記の事項をお願いしたく要望書として提出致します。尚、要望に至る私達の現状説明を資料として別添致しますので、窮状をご理解頂きますようお願い致します。

尚、要望の趣旨をご理解頂き、ご検討の状況について、本年 11 月末日までにご教示下されば幸いです。宜しくお願い致します。

記

要望項目：現行の給付基準額を増額して頂きたい。

現行	消化器系ストーマ装具	8,600 円	⇒	希望金額	(13,000 円)
	尿路系ストーマ装具	11,300 円	⇒	希望金額	(15,000 円)

別添資料：ストーマに係る「歴史」「経緯」「現状」「要望内容」

ストーマに係る説明資料 1

1. 歴史・経緯・現状……………1P
- 2 要望内容……………3～4P

ストーマに係る説明資料 2

『日常生活用具給付等事業に関する現状』

公益社団法人 日本オストミー協会
北海道支部 支部長 須佐 理恵子

【歴史】

排泄管理支援用具の給付の歴史は、1984（昭和 59）年に、ストーマ保有者への身体障害者福祉法の適用が開始され、「補装具の種目、受託報酬の額等に関する基準」として、国の補装具給付制度の対象種目となったところからスタートしました。その後、2006 年障害者自立支援法設立時に、その運用の主体が、国の管理する補装具から、市町村が管理する日常生活用具給付事業に移管されました。

【経緯】

1984 年設定の補装具としての基準額は 当時、消化器系 7,100 円、尿路系 9,300 円で、その後、5~6 年に 1 度、額の見直しが行われ、1993 年に消化器系 8,600 円、尿路系 11,300 円という基準額提示されました。しかしその 1993 年以降、2006 年に市町村の采配で給付基準額が決められるようになってからも含めてこの 31 年、徐々に見直しは進んでいるものの、未だ市区町村の約 80%は基準額の見直しが行われていないことが、我々日本オストミー協会（以下 JOA）として実施した調査で明らかになっています。

JOA では、2006 年に市町村へその管理母体が変更になってきてから現在まで、過去 4 回 市区町村での給付実態調査を実施してきました。

過去 10 年間の変遷結果は添付参考資料の図 1 のとおりで、全国的には 16%以上の市区町村で、基準額の見直しが行われており、それ以外は補装具時代の 1993 年設定の基準から変化がなく、市区町村間で差が生じてきているのが実態です。

北海道下での状況を確認しますと、新篠津村で見直しが行われ、消化器系、尿路系で共に 12,000 円、道下では一番高い基準額です。次いで羽幌町での見直しで、消化器系、尿路系で共に 11,300 円の増額が認められております。

国（厚労省）としても、令和 3 年の主管課長会議において、次のように連絡していることが議事録として確認できます。「このため、各市町村においては、平成 18 年の障害者自立支援法以前に国が定めた基準額や実施方法等にとらわれることなく、定期的に当事者の意見を聴取する等によりニーズを把握した上で実勢価格の調査を行う等、地域の実情に即した、適切な種目や基準額等となるよう定期的な見直しに努められたい。なお、平成 30 年度の障害者総合福祉推進事業による調査研究を通じて、一部の市町村では平成 18 年度以降に種目・基準額・対象者について見直しがされていない状況が確認できたところであり、このような市町村については特に努めて頂きたい。」（令和 4 年度も同様な連絡が発せられています。）

苫小牧市においては、1993年に国が設置した当時の基準額から消化器系、尿路系共に、一度もこの31年間基準額の増額は認められていないのが実情です。

【現状】

現在の給付基準額ではオストメイトの負担は大きく、JOA では市区町村の給付状況調査と合わせて実施するオストメイトの生活実態調査において、直近の第9回（令和3年実施）では83.8%のオストメイトが給付基準額を不足としており、全国平均不足月額全体平均で3,920円という結果と出ています。前回データと比較して、不足額は約600円増えており、また間に合っていないとする方の割合は、第8回では65.3%であったのに対して、今回は83.8%であり、不足と感じる方の割合が約20%も増加していることがわかります。（下記表1参照）

表1：毎月の自己負担額（添付参考資料の表1より抜粋：第9回オストメイト生活実態基本調査報告書 令和4年11月 日本オストミー協会、P21、表34より転記）

		給付不足額/月	間に合っていない割合
全体	以下、①～④の平均	3,920 円 前回 3,364 円	83.8% 前回 65.3%
消化管ストーマ	① 結腸（大腸）ストーマ：コロストミー	3,763 円 前回 3,344 円	83.2% 前回 64.0%
	② 回腸（小腸）ストーマ：イレオストミー	4,796 円 前回 4,608 円	87.6% 前回 71.7%
尿路ストーマ	③ ウロストミー	3,670 円 前回 2,670 円	83.8% 前回 66.3%
ダブルストーマ	④ 消化管ストーマと尿路ストーマの併存	4,627 円 前回 2,764 円	82.3% 前回 58.8%

参照して頂いた上記の表1には、全体平均不足額以外に、ストーマの種類別の不足額も掲載しました。ストーマの種類については、添付参考資料ページ4表1をご覧ください。

装具代の負担感に関する問題は、ストーマに関連する学会や医療従事者団体等の調査、研究でも、次のような結果が発表されています。

- ① 「社会生活」のカテゴリーの中で、一番の困った経験は「補助金を超えた装具代を支払っている。」が第一位であった。（添付参考資料のページ6図2）

・ストーマの種類別、大腸ストーマ（コロストミー）、小腸ストーマ（イレオストミー） 尿路ストーマ（ウロストミー）、ダブルストーマそれぞれにおいても、装具代の負担感が社会生活のカテゴリーで第一位であった。

出典：ストーマ保有者の困った経験の実態調査2020より抜粋（NPO 法人ストーマ・イメージアップ・プロジェクトチーム（SIUP）調査

【要望内容】

以上のような現状を踏まえ、それぞれの給付基準額の不足分である、消化器系（コロストミーとイレオストミーの単純平均）4,280 円、尿路系（ウロストミー）3,670 円を考慮し、下記金額を希望します。

消化器系ストーマ装具 8,600 円（現行）+4,280 円=12,880 円 希望 13,000 円

尿路系ストーマ装具 11,300 円（現行）+3,670 円=14,970 円 希望 15,000 円

昨年の市区町村に対する給付状況に関する JOA の調査では、この直近 3 年で消費税率が 10%に上がっていることを機に、また過去からの製品価格の値上げ状況や、自治体住民へのアンケート実施などで実態把握を行うことで、見直しに至る市区町でできていることがわかってきました。実際、2005 年度から 2024 年度までの代表的なストーマ装具の価格は、平均 40%値上げされており、特にここ数年は、昨今の状況から、メーカーのストーマ装具類の販売価格の値上げも相次いでいる（詳細は別紙参照）。このような状況から、見直しが行われていない現在の給付基準額で、オストメイトの実費負担が増えてきている状況です。これらの点についてもぜひご考慮の程お願い致します。

【まとめ】

私達オストメイトにとって、ストーマ装具と関連製品は毎日の排泄を支える生活必需品です。本要望書にも記載したとおり、オストメイトといっても、個々のストーマ種類や環境により必要な装具や関連補助製品も異なります。個々のオストメイトが必要なものをきちんと使用できる環境を整え、トラブル回避できるレベルの装具交換と、補助的関連製品が心配なく使用できることで、ごく普通に得られるべき生活の質が維持できます。この為メーカーの値上げに伴いストーマ装具基準額の引き上げを切にお願い致します。

以上

【ご回答のお願い】

大変お手数をおかけしますが、令和 6 年 11 月末日までに、文書でご回答くださいますようお願い致します。

送付先 〒064-0826 札幌市中央区北 6 条西 26 丁目 2-15-701

公益社団法人 日本オストミー協会 北海道支部

支部長 須佐 理恵子

1. 2005年度から2024年度までの代表的なストーマ装具の価格の変化

メーカー		単品系					
		平面（結腸）	凸面（結腸）	平面（小腸）	凸面（小腸）	平面（尿路）	凸面（尿路）
A	2005年販売製品価格（枚）	¥230	¥560	該当品なし	¥700	¥480	¥950
	2024年 "	¥620	¥970	¥870	¥1,140	¥830	¥1,140
	Up率（%）	170	73	-	63	73	20
B	2005年販売製品価格（枚）	¥400	¥690	該当品なし	該当品なし	¥750	¥950
	2024年 "	¥610	¥970	¥710	¥970	¥850	¥1,150
	Up率（%）	53	41	-	-	13	21
C	2005年販売製品価格（枚）	¥250	該当品なし	該当品なし	該当品なし	¥850	¥1,000
	2024年 "	¥419	¥950	¥742	¥827	¥1,077	¥1,060
	Up率（%）	68	-	-	-	27	6
D	2005年販売製品価格（枚）	¥530	¥890	該当品なし	該当品なし	¥850	該当品なし
	2024年 "	¥630	¥950	¥700	¥920	¥850	¥950
	Up率（%）	19	7	-	-	0	-
E	2005年販売製品価格（枚）	¥500	¥830	該当品なし	該当品なし	¥730	¥950
	2024年 "	¥520	¥990	¥700	¥800	¥810	¥1,100
	Up率（%）	4	19	-	-	11	16
Up率5社平均		63	35	-	63	25	16
						総平均	40

2. 主要4メーカーの直近3年のストーマ装具類の値上げ状況

メーカー名	価格改定時期	改定品目数
ホリスター・ダンサック（米国）	2022年10月	606
コンバテック（米国）	2021年3月	174
	2023年3月	69
コロプラスト（デンマーク）	2023年4月	298
アルケア（日本）	2023年4月	278
	2024年4月	103